



令和3年11月15日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社
 代表者名 取締役社長 中原 巖
 (コード番号 1914 東証 第1部)
 問合せ先 執行役員 事務管理本部長 尾崎 克哉
 (TEL 03-5365-2500)

特別損失(個別)の計上および第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和4年3月期第2四半期累計期間の個別決算において特別損失を計上するとともに、令和3年5月14日に公表しました令和4年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(投資損失引当金繰入額)

第2四半期累計期間の個別決算において、連結子会社に対する関係会社株式評価損153百万円および関係会社貸倒引当金繰入額104百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 業績予想との差異

令和4年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の差異(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり四 半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,200	百万円 120	百万円 175	百万円 50	円 銭 2.15
実績値(B)	10,443	153	288	149	6.48
増減額(B-A)	243	33	113	99	—
増減率(%)	2.4%	27.5%	64.6%	199.8%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和3年3月期第2四半期)	10,419	300	393	139	5.43

令和4年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の差異(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,600	百万円 440	百万円 0	円 銭 0.00
実績値(B)	9,694	603	225	9.77
増減額(B-A)	94	163	225	—
増減率(%)	1.0%	37.2%	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和3年3月期第2四半期)	9,404	763	188	7.38

3. 差異理由

(第2四半期累計期間の個別業績)

個別業績につきましては、売上高はほぼ計画通り工事が進捗したことにより、前回予想から94百万円の増加となりました。

利益面につきましては、重機を中心とした機械化施工の効率化をすすめたことおよび間接費の削減効果によって、営業損益は計画を上回り、また、受取配当金などの営業外収益の増加により経常利益は前回予想から163百万円の増加となりました。

四半期純利益は、特別利益において投資有価証券売却益62百万円を計上したほか、特別損失に関係会社株式評価損153百万円および関係会社貸倒引当金繰入額104百万円を計上したものの、前回予想から225百万円の増加となりました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

(第2四半期累計期間の連結業績)

上記個別業績の差異および、米国現地法人において、間接費の削減効果により、営業損益が前回予想を上回った結果、グループ全体としては、前回予想から売上高は243百万円、営業利益で33百万円、経常利益で113百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で99百万円それぞれ増加しました。

4. 通期業績予想

令和4年3月期の通期業績予想につきましては、令和3年5月14日に公表しております予想数値から変更はありません。

以 上